

まちづくり 協力に感謝

虎杖浜地区の観光振興に寄付 ▶

町内で温泉を経営する株式会社北王観光 アヨロ温泉の山下正純前社長の母、山下弘さん（登別市）から、100万円の寄付を受けました。寄付は今回で2回目となり総額は200万円になります。「このたびアヨロ温泉の代表が変更となることから、長年お世話になった白老町に寄付をさせていただきました。虎杖浜地区の観光振興に役立ててください」と目録を手渡しました。同席の小松正和現代表取締役社長は「50年以上歴史ある温泉を引き継いだので大きく変えず、活性化できるよう頑張っていきたい」と話していました。（11月7日）



◀ 図書購入と子育て支援に寄付

荷役・運送業務などの新和産業株式会社（室蘭市、内山道代表取締役）から、図書購入費に5万円、子育て支援に5万円、計10万円の寄付を受けました。内山代表取締役が「時代に即した本を選定してもらい感謝しています。有効に活用して勉強してほしい」と目録を手渡しました。大塩英男町長は「子どもはまちの宝と、子育て支援に力を入れていますのでぜひ活用させてもらいます」と感謝を述べていました。



同社は社会貢献として「子ども」「未来」「学習」などをテーマに「伊達直人プロジェクト」として寄付活動を行っています。寄付は今回で7回目。総額は70万円となり、図書館の購入冊数は計155冊となりました。室蘭市、登別市、苫小牧市にも同様な寄付を行っています。（11月2日）

農業振興に寄付で感謝状 ▶

町内で和牛牧場を経営する株式会社敷島ファーム（栃木県那須町、高田正樹代表取締役）から、「農業振興に役立ててください」と100万円の寄付を受けました。寄付は今回で7回目となり総額は1,100万円になります。高田代表取締役は「微力ながら町全体を盛り上げたい」と話していました。大塩英男町長は「1次産業にもしっかり力をいれていきたい」と感謝状を贈りました。（10月16日）



◀ 認定こども園・保育園に手縫い雑巾を寄贈

町内会連合会女性部会（野田準子部長）は、認定こども園と保育園にお掃除などに使う手縫い雑巾100枚を寄贈しました。女性部会の事業の一環として、これまでもパッチワーク仕立てのタオルハンガーや花布巾など手作りの品を30年以上寄贈しています。野田部長は「みんなで心を込めて用意しました。これからもできる範囲で頑張りたい」と話していました。（11月13日）



「踏切は必ず一旦停止を」 冬の踏切事故防止啓発活動

町内会連合会やJR関係者、交通安全指導員会、白老交番、役場職員ら17人が、寒風が吹く中、ウポポイ周辺の白老小沼線通り踏切で啓発活動を行いました。ドライバーに啓発資材を配布し、「早めのスピードダウンと一旦停止」を呼びかけました。冬の交通安全町民総ぐるみ運動の一環。（11月14日）

